

Cisco Nexus C36180YC-R スイッチ

製品概要

Cisco Nexus[®] C36180YC-R は高速、高密度の 1、10、25、40 または 100 ギガビット イーサネット スイッチであり、データセンターの集約のために設計されています。Cisco Nexus C36180YC-R の大容量のバッファとルーティング テーブル サイズにより、IP ストレージ、緩衝地帯(DMZ)、ビッグデータ、エッジ ルーティングなどの幅広いアプリケーションの代替選択肢にもなります。コンパクトな 1 ラック単位(1 RU)のフォーム ファクタであり、レイヤ 2 およびレイヤ 3 の広範な機能を提供します。R シリーズ ファミリの一部であり、業界トップクラスの NX-OS オペレーティング システム ソフトウェアを実行します。

豊富なプログラマビリティ機能により、企業は最新のアプリケーションを実行するだけでなく、要求が厳しく、変化するアプリケーション ニーズに備えることができます。Cisco Nexus C36180YC-R は、AC および DC 電源入力で、標準およびリバース(ポート側排気およびポート側吸気)の両方式のエアフローをサポートしています。

Cisco Nexus C36180YC-R(図 1)は、48 個の SFP と 6 個の QSFP28 ポートを備えた Small Form-Factor Pluggable (SFP)およびクワッド SFP(QSFP)スイッチです。各 SFP ポートは、1、10、または 25 ギガビット イーサネット で動作でき、各 QSFP28 は 100 または 40 ギガビット イーサネットあるいはブレイクアウト ケーブル構成¹で動作することができます。6 個の QSFP28 ポートは、IEEE 802.1ae MAC Security(MACSec)をサポートすることができます。

図 1 Cisco Nexus C36180YC-R スイッチ



主な利点

Cisco Nexus C36180YC-R は、次の利点を備えています。

- **すべてのポートでワイヤレートのレイヤ 2 およびレイヤ 3 スイッチングを実現:**最大 3.6 テラビット/秒(Tbps)および 16.7 億パケット/秒(bpps)
- **プログラマビリティ:**Cisco[®] NX-API、Linux コンテナ、拡張マークアップ言語(XML)、JavaScript Object Notation(JSON)アプリケーション プログラミング インターフェイス(API)、OpenStack プラグイン、Python、Puppet/Chef 設定および自動化ツールをサポート
- **高いパフォーマンスと優れた拡張性:**6 コア CPU、32 GB の DRAM、8 GB の動的バッファ割り当て機能を備え、拡張性に優れたデータセンターやビッグ データ アプリケーションに最適なスイッチ
- **柔軟性:**
 - 光ファイバソリューションと銅線ケーブル配線ソリューションのいずれも、1、10、25、40、50、100 Gbps 接続に利用できます。アクティブ光ケーブル(AOC)およびダイレクト アタッチド ケーブル(DAC)も利用可能です。
 - QSFP28 ポートは 4 X 25 Gbps または 4 X 10 Gbps ポートとして動作するように構成できます。

¹詳細については、ソフトウェア リリース ノートと光学系サポート ページをご覧ください。

- **高可用性:**
 - Virtual PortChannel (vPC) テクノロジーにより、スパニングツリー プロトコルを不要にすることで、レイヤ 2 マルチパスを提供します。また、既存の管理モデルや展開モデルを変更しなくても、2 分割帯域幅を十分に活用し、レイヤ 2 論理トポロジを簡素化できるようになります。
 - 高度なメンテナンス機能にはホットおよびコールド パッチやグレースフル挿抜 (GIR) モードが含まれます。
 - ホットスワップ可能な電源ユニット (PSU) とファンも使用されています。
- **実績のある総合的な革新技術を活用した NX-OS オペレーティング システム**
 - Power On Auto Provisioning (POAP) によってスイッチの起動や設定に手動の操作が必要ないため、プロビジョニングに要する時間を大幅に短縮
 - Cisco Embedded Event Manager (EEM) と Python スクリプティングにより、データセンターの自動化とリモート操作が可能
 - EtherAnalyzer は内蔵型のパケット アナライザで、コントロールプレーンのトラフィックの監視およびトラブルシューティングを行います。これは、広く使用されているオープン ソースのネットワーク プロトコル アナライザである Wireshark を基に作成されています。
 - 豊富なレイヤ 3 ユニキャストおよびマルチキャスト ルーティング プロトコルをサポートしています。それらのプロトコルには、Border Gateway Protocol (BGP)、Open Shortest Path First (OSPF)、Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP)、Routing Information Protocol Version 2 (RIPv2)、Protocol-Independent Multicast Sparse Mode (PIM-SM)、Source-Specific Multicast (SSM)、Multicast Source Discovery Protocol (MSDP) が含まれます。

設定

Cisco Nexus C36180YC-R の構成は、次のとおりです。

- 48 ポート 1、10、または 25 ギガビット イーサネット SFP
- 6 ポート 100 ギガビット イーサネット QSFP286 つのすべてのポートでワイヤレート MACsec 暗号化がサポートされています。
- ロケータ LED
- 環境 LED
- ステータス LED
- デュアル冗長電源
- 10、100 または 1000 Mbps 管理用ポート (クーパまたは光ファイバ) X 1
- RS-232 シリアル コンソール ポート X 1
- USB ポート X 1

トランシーバおよびケーブルのオプション

Cisco Nexus C36180YC-R には、48 個の SFP ポートがあります。1、10、または 25 Gbps SFP の幅広い範囲の速度をサポートし、光ファイバおよび銅ケーブル ソリューションの両方をサポートします。

Cisco Nexus C36180YC-R には、6 個の QSFP ポートがあります。QSFP28 テクノロジーによって、データセンターのギガビット イーサネット インフラストラクチャを 40 ギガビットから 100 ギガビットへスムーズに移行できます。スイッチの各 QSFP28 ポートは、ネイティブ 100 ギガビット イーサネット モードまたは 4 X 25 ギガビット イーサネット モードで稼働できます。この 2 つのモードで光ファイバと銅線ケーブル配線のどちらのソリューションにも対応できます。

サポートされるすべての光ファイバについては、以下の最新の互換性マトリックスを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/interfaces-modules/transceiver-modules/products-device-support-tables-list.html> [英語]

トランシーバタイプの詳細については、

https://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps5455/prod_module_series_home.html [英語] を参照してください。

Cisco NX-OS ソフトウェアの利点

NX-OS は、モジュール性、復元性、有用性を基盤として構築された、データセンター クラスの OS です。これを使用すると、継続的な可用性を確保し、ミッション クリティカルなデータセンター環境の基盤を確立することができ、自己修復機能と高度なモジュール設計によって、ゼロインパクトの運用を実現するとともに、これまでにない高い柔軟性を提供します。

データセンターの要件に特化した NX-OS は、現在および将来のデータセンターに要求されるネットワーク要件を満たす、堅牢で包括的な機能を備えています。XML インターフェイスを備え、Cisco IOS[®] ソフトウェアと同様のコマンドライン インターフェイス (CLI) を持つ NX-OS は、主要なネットワーク標準およびシスコが持つ真のデータセンター クラスの新技术を実装した、最先端の OS です。

表 1 は NX-OS が提供する利点の概要を示し、表 2 は、Cisco Nexus C36180YC-R に利用できる NX OS パッケージを一覧表示します。

表 1. Cisco NX-OS ソフトウェアの利点

機能	利点
ソフトウェアの互換性: NX-OS は、Cisco IOS ソフトウェアを実行するシスコ製品との相互運用が可能です。また、サポート対象としてこのデータシートに掲載されているネットワーク標準に準拠したネットワーク OS とも相互運用できます。	<ul style="list-style-type: none"> 既存のネットワーク インフラストラクチャを使用した透過的運用 オープン スタンド 互換性を懸念する必要がない
モジュール型ソフトウェア設計: NX-OS は、分散マルチスレッド処理をサポートするように設計されています。そのモジュール型プロセスは、それぞれ別の保護メモリ領域内にオンデマンドでインスタンス化されます。したがって、プロセスが開始されてシステム リソースが割り当てられるのは、機能が新たに有効化されたときだけです。モジュール型プロセスはリアルタイム プリエンプティブ スケジューラによって制御されるため、重要な機能が適切なタイミングで実行されます。	<ul style="list-style-type: none"> 堅牢なソフトウェア 耐障害性 拡張性の向上 ネットワークの可用性の向上
トラブルシューティングおよび診断: NX-OS には、革新的なサーブিসアビリティ機能が組み込まれているため、ネットワークのトレンドやイベントに早期に対処できます。これにより、ネットワーク プランニングの質が向上し、ネットワーク オペレーション センター (NOC) やベンダーの応答時間が短縮されます。	<ul style="list-style-type: none"> 迅速な問題の切り分けと解決 継続的なシステム モニタリングと予防的通知 運用チームの生産性向上
容易な管理: NX-OS は、業界標準の NETCONF をベースとするプログラマチック XML インターフェイスを備えています。NX-OS XML インターフェイスによって、デバイスに対する API が統一されます。NX-OS は、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) バージョン 1、2、および 3 MIB もサポートします。さらに、NX-API および Linux Bash もサポートされるようになりました。	<ul style="list-style-type: none"> 管理を強化するツールの迅速な開発および作成 包括的な SNMP MIB サポートによる効率的なリモート モニタリング
ロールベース アクセス コントロール (RBAC): 管理者がユーザにロールを割り当てることで、スイッチ操作へのアクセスを制限することができます。アクセスが必要なユーザだけにアクセスを許可するようカスタマイズすることが可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ユーザ ロールに基づく厳しいアクセス コントロール メカニズム ネットワーク デバイス セキュリティの向上 人的ミスから発生するネットワークの問題の削減

表 2. Cisco Nexus C36180YC-R で使用可能な Cisco NX-OS ソフトウェア パッケージ*

パッケージ	シャーシ ベース	製品番号	サポートされる機能
Cisco Nexus C36180YC-R Enhanced レイヤ 3 ライセンス	シャーシ	N3K-LAN1K9	レイヤ 3 機能(フル OSPF、EIGRP、BGP など)

* Cisco Nexus C36180YC-R は Cisco Nexus 9000 のライセンス スキームを使用します。詳細については、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/datacenter/sw/nx-os/licensing/guide/b_Cisco_NX-OS_Licensing_Guide/b_Cisco_NX-OS_Licensing_Guide_chapter_01.html#con_24753 [英語] を参照してください。

製品仕様

表 3 に、Cisco Nexus C36180YC-R の仕様を示します。

表 3. 仕様

説明	仕様	
物理仕様	<ul style="list-style-type: none"> 1RU 固定フォーム ファクタ スイッチ SFP ポート X 48: それぞれがネイティブ 25、10、または 1 ギガビット イーサネット モードをサポートします。 QSFP28 ポート X 6: 各ポートで、100 ギガビット イーサネット ネイティブ モードと 4 X 25 ギガビット イーサネット モードをサポート 冗長電源 X 2 管理、コンソール、USB フラッシュ メモリ ポート 	
パフォーマンス	<ul style="list-style-type: none"> スイッチング容量: 1.8 Tbps 転送レート: 最大 1.67 bpps 115B より大きいパケット サイズについて、すべてのポートでのラインレートトラフィックスループット(レイヤ 2 および 3 の両方) 最大伝送単位(MTU)が 9216 バイトのジャンボ フレームまで設定可能 	
ハードウェア テーブルおよび拡張性*	MAC アドレスの総数	750,000
	VLAN の数	4,096
	スパンニングツリー プロトコルのインスタンス数	<ul style="list-style-type: none"> 高速スパンニング ツリー プロトコル(RSTP) : 512 マルチ スパンニング ツリー プロトコル(MSTP) : 64
	ACL エントリ数	<ul style="list-style-type: none"> 7,000 入力
	ルーティング テーブル*	<ul style="list-style-type: none"> 最長プレフィクス照合(LPM)ルートの最大数: 256,000 IP ホスト エントリの最大数: 750,000 MAC アドレス エントリの最大数: 750,000 レイヤ 3 マルチキャスト エントリの最大数: 128,000
	EtherChannel の数	256 (vPC の場合)
	EtherChannel あたりのポート数	32
	バッファ サイズ	8 GB
	システム メモリ	32 GB
	ブートフラッシュ メモリ	128 GB
	周波数	50 ~ 60 Hz
	電源	電源のタイプ
通常動作時電力		ワット(W)
最大電力		771W
AC 電源ユニット(PSU)		<ul style="list-style-type: none"> 入力電圧 周波数
効率性		89 ~ 91 % (220 V)
<ul style="list-style-type: none"> 電源効率 		<ul style="list-style-type: none"> 100 ~ 240 VAC 50 ~ 60 Hz 89 ~ 91 % (220 V)

説明	仕様	
	最大発熱量	2,631MBTU
	<ul style="list-style-type: none"> 標準およびリバースのエアフロー方式 <ul style="list-style-type: none"> 標準エアフロー: ポート側で排気(冷却気はファントレイおよび電源装置側から入り、ポート側から排出) リバース エアフロー: ポート側で吸気(冷却気はポート側から入り、ファントレイと電源装置側から排出) ホットスワップ可能(1分以内にスワップする必要がある)	
冷却ファン	測定音響出力(最大)	<ul style="list-style-type: none"> ファン速度: 40 % デューティ サイクル ファン速度: 70 % デューティ サイクル ファン速度: 100 % デューティ サイクル
音響	外形寸法 (高さ X 幅 X 奥行)	4.4 X 43.9 X 68.2 cm (1.72 X 17.3 X 26.85 インチ)
環境	重量	12.3 kg (27.1 ポンド)
	温度: 動作時	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)
	温度: ストレージ	-40 ~ 70 °C (-40 ~ 158 °F)
	相対湿度(動作時)	<ul style="list-style-type: none"> 10 ~ 85 % (結露しないこと) 最大湿度(85 %) で最長 5 日 アメリカ暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) データ センター環境推奨
	相対湿度(保管時)	<ul style="list-style-type: none"> 5 ~ 95 % (結露しないこと)
	高度	0 ~ 3000 m (0 ~ 10,000 フィート)

* 特定用途集積回路 (ASIC) の機能を示しています。特定のソフトウェア リリースで検証されている正確な拡張性データについては、『Cisco Nexus 3600 Series Verified Scalability Guide (Cisco Nexus 3600 シリーズ検証済みスケラビリティ ガイド)』を参照してください。 https://www.cisco.com/en/US/products/ps11541/products_installation_and_configuration_guides_list.html [英語]

** 高電圧電源と通常の電源を組み合わせることはできません

ソフトウェア機能

Nexus 3600 プラットフォームでサポートされているソフトウェア機能の一覧については、最新のリリース ノートを参照してください。 <https://www.cisco.com/c/en/us/support/switches/nexus-3000-series-switches/products-release-notes-list.html> [英語]

標準規格

表 4 に、Cisco Nexus 3600 プラットフォームがサポートする管理機能と規格を示します。

表 4. 管理機能と規格のサポート

説明	仕様	
MIB サポート	一般的な MIB <ul style="list-style-type: none"> SNMPv2-SMI CISCO-SMI SNMPv2-TM SNMPv2-TC IANA-ADDRESS-FAMILY-NUMBERS-MIB IANA-Type-MIB IANA iprouteprotocol-MIB HCNUM-TC CISCO-TC SNMPv2-MIB SNMP-COMMUNITY-MIB SNMP-FRAMEWORK-MIB SNMP-NOTIFICATION-MIB 	モニタリング MIB <ul style="list-style-type: none"> NOTIFICATION-LOG-MIB CISCO-SYSLOG-EXT-MIB CISCO-PROCESS-MIB RMON-MIB CISCO-RMON-CONFIG-MIB CISCO-HC-ALARM-MIB セキュリティ MIB <ul style="list-style-type: none"> CISCO-AAA-SERVER-MIB CISCO-AAA-SERVER-EXT-MIB CISCO-COMMON-ROLES-MIB CISCO-COMMON-MGMT-MIB CISCO-SECURE-SHELL-MIB

説明	仕様	
	<ul style="list-style-type: none"> • SNMP-TARGET-MIB • SNMP-USER-BASED-SM-MIB • SNMP-VIEW-BASED-ACM-MIB • CISCO-SNMP-VACM-EXT-MIB • CISCO-CLASS-BASED-QOS-MIB <p>イーサネット MIB</p> <ul style="list-style-type: none"> • CISCO-VLAN-MEMBERSHIP-MIB • LLDP-MIB • IP-MULTICAST-MIB <p>設定 MIB</p> <ul style="list-style-type: none"> • ENTITY-MIB • IF-MIB • CISCO-ENTITY-EXT-MIB • CISCO-ENTITY-FRU-CONTROL-MIB • CISCO-ENTITY-SENSOR-MIB • CISCO-SYSTEM-MIB • CISCO-SYSTEM-EXT-MIB • CISCO-IP-IF-MIB • CISCO-IF-EXTENSION-MIB • CISCO-NTP-MIB • CISCO-IMAGE-MIB • CISCO-IMAGE-UPGRADE-MIB 	<p>その他の MIB</p> <ul style="list-style-type: none"> • CISCO-LICENSE-MGR-MIB • CISCO-FEATURE-CONTROL-MIB • CISCO-CDP-MIB • CISCO-RF-MIB <p>レイヤ 3 およびルーティング MIB</p> <ul style="list-style-type: none"> • UDP-MIB • TCP-MIB • OSPF-MIB • BGP4-MIB • CISCO-HSRP-MIB
標準規格	<ul style="list-style-type: none"> • IEEE 802.1D: スパニング ツリー プロトコル • IEEE 802.1p: サービス クラス (CoS) 優先順位付け • IEEE 802.1Q: VLAN タギング • IEEE 802.1s: スパニング ツリー プロトコルの複数 VLAN インスタンス • IEEE 802.1w: スパニング ツリー プロトコルの高速再構成 • IEEE 802.3z: ギガビット イーサネット • IEEE 802.3ad: Link Aggregation Control Protocol (LACP) • IEEE 802.3ae: 10 ギガビット イーサネット • IEEE 802.1ab: Link Layer Discovery Protocol (LLDP) 	
RFC	<p>BGP</p> <ul style="list-style-type: none"> • RFC 1997: BGP コミュニティ アトリビュート • RFC 2385: TCP MD5 シグネチャ オプションによる BGP セッションの保護 • RFC 2439: BGP ルート フラップ ダンピング • RFC 2519: ドメイン間ルート アグリゲーションのフレームワーク • RFC 2545: BGPv4 マルチプロトコル拡張の使用 • RFC 2858: BGPv4 のためのマルチプロトコル拡張 • RFC 3065: BGP のための自律システム コンフェデレーション • RFC 3392: BGPv4 によるケイパビリティ アドバタイズメント • RFC 4271: BGPv4 • RFC 4273: BGPv4 MIB: BGPv4 のための管理対象オブジェクトの定義 • RFC 4456: BGP ルート リフレクション • RFC 4486: BGP 中止通知メッセージのサブコード • RFC 4724: BGP のためのグレースフル リスタート メカニズム • RFC 4893: 4 オクテット AS 番号空間に対する BGP のサポート • RFC 5549: BGP で IPv4 NLRI を IPv6 ネクスト ホップで指定 <p>OSPF</p> <ul style="list-style-type: none"> • RFC 2328: OSPF バージョン 2 • 8431RFC 3101: OSPF Not-So-Stubby-Area (NSSA) オプション • RFC 3137: OSPF スタブ ルータ アドバタイズメント • RFC 3509: OSPF エリア境界ルータの代替実装 • RFC 3623: グレースフル OSPF リスタート • RFC 4750: OSPF バージョン 2 MIB 	

説明	仕様
	<p>RIP</p> <ul style="list-style-type: none"> • RFC 1724:RIPv2 拡張 MIB • RFC 2082:RIPv2 MD5 認証 • RFC 2453:RIP バージョン 2 <p>IP Services</p> <ul style="list-style-type: none"> • RFC 768:User Datagram Protocol(UDP) • RFC 783:Trivial File Transfer Protocol(TFTP) • RFC 791:IP • RFC 792:ICMP • RFC 793:TCP • RFC 826:ARP • RFC 854:Telnet • RFC 959:FTP • RFC 1027:プロキシ ARP • RFC 1305:Network Time Protocol(NTP)バージョン 3 • RFC 1519:クラスレスドメイン間ルーティング(CIDR) • RFC 1542:BOOTP リレー • RFC 1591:ドメイン ネーム システム(DNS)クライアント • RFC 1812:IPv4 ルータ • RFC 2131:DHCP ヘルパー • RFC 2338:VRRP <p>IP マルチキャスト</p> <ul style="list-style-type: none"> • RFC 2236:インターネット グループ管理プロトコル、バージョン 2 • RFC 3376:インターネット グループ管理プロトコル、バージョン 3 • RFC 3446:PIM および MSDP を使用したエニーキャスト ランデブー ポイント メカニズム • RFC 3569:SSM の概要 • RFC 3618:Multicast Source Discovery Protocol(MSDP) • RFC 4601:Protocol Independent Multicast - Sparse Mode(PIM-SM) :プロトコル仕様(改訂) • RFC 4607:IP のための Source-Specific Multicast • RFC 4610:PIM を使用したエニーキャスト ランデブー ポイント • RFC 5132:IP マルチキャスト MIB

適合標準規格

表 5 に、Cisco Nexus 3600 プラットフォームが準拠する適合標準規格の概要を示します。

表 5. 適合標準規格:安全性および EMC

仕様	説明
適合認定	本製品は、指令 2004/108/EC および 2006/95/EC による CE マーキングに準拠しています。
安全性	<ul style="list-style-type: none"> • UL 60950-1 • CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1EN 60950-1 • IEC 60950-1AS/NZS 60950-1GB4943
EMC:放射	<ul style="list-style-type: none"> • 47CFR Part 15(CFR 47)クラス A • AS/NZS CISPR22 クラス A • CISPR22 クラス A • EN55022 クラス A • ICES003 クラス A • VCCI クラス A • EN61000-3-2 • EN61000-3-3 • KN22 クラス A • CNS13438 クラス A

仕様	説明
EMC:イミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> • EN50082-1 • EN61000-6-1 • EN55024 • CISPR24 • EN300386 • KN 61000-4 シリーズ

発注情報

表 6 に、Cisco Nexus C36180YC-R の発注情報を示します。

表 6. 発注情報

製品番号	説明
シャーシ	
N3K-C36180YC-R	Nexus 36180YC-R, 48p 10/25G および 6p QSFP28
NXA-FAN-65CFM-PI	Nexus 用ファン、65CFM、ポート側吸気のエアーフロー
NXA-FAN-65CFM-PE	Nexus 用ファン、65CFM、ポート側排気のエアーフロー
NXA-PAC-1100W-PE2	Nexus AC 1100W PSU:ポート側排気
NXA-PHV-1100W-PI	Nexus 1100W ブラチナ HV-AC-DC PS、ポート側吸気のエアーフロー
NXA-PHV-1100W-PE	Nexus 1100W ブラチナ HV-AC-DC PS、ポート側排気のエアーフロー
NXA-PAC-1100W-PI2	Nexus AC 1100W PSU:ポート側吸気
ソフトウェア ライセンス	
N3K-LAN1K9	Nexus 3000 LAN Enterprise ライセンス
スペア	
N3K-C36180YC-R =	Nexus 36180YC-R, 48p 10/25G および 6p QSFP28、スペア
NXA-FAN-65CFM-PI=	Nexus 用ファン、65CFM、ポート側吸気のエアーフロー、スペア
NXA-FAN-65CFM-PE=	Nexus 用ファン、65CFM、ポート側排気のエアーフロー、スペア
NXA-PAC-1100W-PE2=	Nexus AC 1100W PSU:ポート側排気、スペア
NXA-PHV-1100W-PI=	Nexus 1100W ブラチナ HV-AC-DC PS、ポート側吸気のエアーフロー、スペア
NXA-PHV-1100W-PE=	Nexus 1100W ブラチナ HV-AC-DC PS、ポート側排気のエアーフロー、スペア
NXA-PAC-1100W-PI2=	Nexus AC 1100W PSU:ポート側吸気、スペア

サービスとサポート

シスコは、データセンターへの Cisco Nexus 3600 プラットフォーム スイッチの導入と最適化を成功させるために、各種サービスを用意しています。シスコの革新的なサービスは、運用効率の向上とデータセンター ネットワークの改善を目的として、スタッフ、プロセス、ツール、パートナーをそれぞれに組み合わせて提供されます。シスコ アドバンスド サービスは、アーキテクチャ主導型のアプローチによってデータセンター インフラストラクチャをビジネスの目的に合致させ、長期にわたる価値を提供します。

Cisco SMARTnet™ サービスを利用すると、シスコのネットワーク専門家や高い実績を持つリソースにいつでも直接アクセスして、ミッション クリティカルな問題を解決できます。

このサービスでは、お客様は Cisco Smart Call Home サービス機能をご利用いただけます。この機能により、お客様が保有している Cisco Nexus 3600 プラットフォーム スイッチに関する予防的診断やリアルタイムのアラートが提供されます。シスコのサービスは、ネットワーク ライフサイクル全体にわたって、投資の保護、ネットワーク運用の最適化、移行のサポート、IT 能力の強化を行います。

Cisco Capital

目標の達成を支援するファイナンス

Cisco Capital[®] は、目的達成と競争力の維持に必要なテクノロジーの調達をサポートします。お客様の CapEx を削減し、成功を加速させ、投資金額と ROI を最適化します。Cisco Capital ファイナンス プログラムを利用すると、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、補完的なサードパーティ製機器を柔軟に取得できます。支払いが統一されるため、予想外の支払いが発生することはありません。Cisco Capital は 100 カ国以上でサービスを利用できます。Cisco Capital についての [詳細はこちら](#) をご覧ください。

関連情報

詳細については、<https://www.cisco.com/go/nexus3000> [英語] を参照してください。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2018 年 8 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先